

建築設備 BIM アプリケーション

CADWe'll **Linux** V4

体験セミナー

～ 電気設備編 ～




目次

0.	事前準備	1
1.	画面構成	2
2.	コマンドランチャー	2
3-1.	設定マネージャ	3
3-2.	プロファイル	4
3-3.	キャビネット	4
4.	3D展開	5
5-1.	照明器具配置	6
5-2.	照明器具自動配置	7
6.	スイッチ配置	8
7-1.	配線作図	10
7-2.	回路番号作図	11
8-1.	ラック作図	12
8-2.	干渉検査	13
8-3.	クリッピング	14
8-4.	ラック編集(FL変更)	15
8-5.	ラックケーブル作図	16
8-6.	ラック定尺分割	17
9.	属性検索・編集	18
10.	数量拾い	21

0. 事前準備


※はじめに「LinuxE_taiken_seminar_data.zip」をデスクトップに解凍します。

① CADWe'll Linux V4 を起動します。

② 右クリックメニュー[設定マネージャ]  を選択します。

③ [ユーザー] - [キャビネット一覧] を選択し、<既存キャビネットの参照追加> をクリックします。

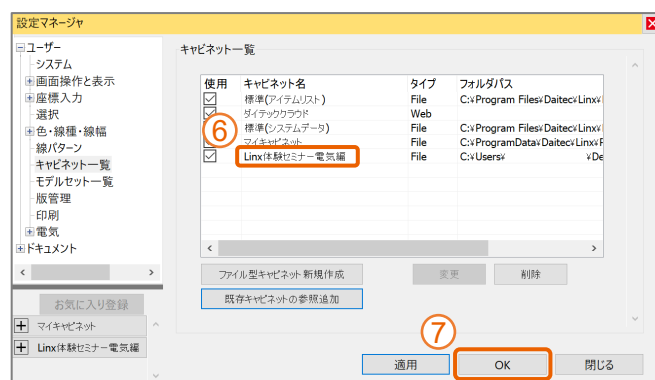
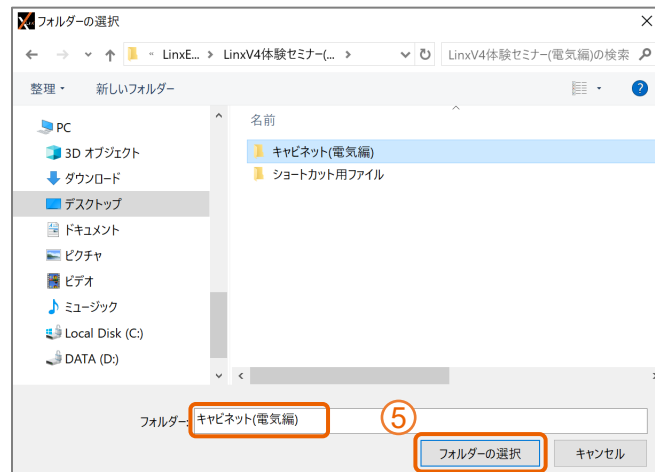
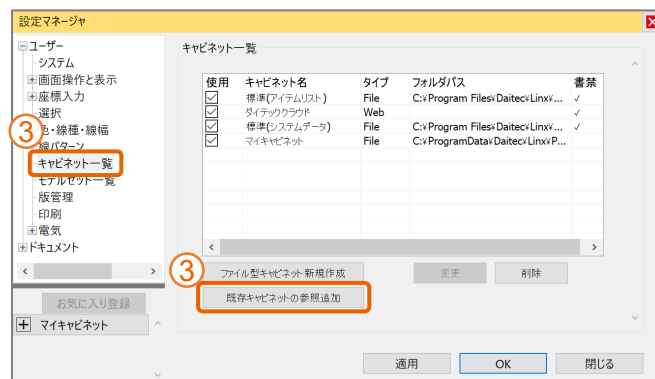
④ 「既存キャビネットの参照追加」で「ファイル型」を選択し、<次へ> をクリックします。

⑤ 「フォルダパス」で  をクリックし、デスクトップに解凍した以下のフォルダーを指定して<フォルダーの選択>をクリックします。

LinuxV4体験セミナー(電気編)
¥キャビネット(電気編)

⑥ <OK>をクリックし、キャビネット一覧に「Linux V4 体験セミナー(電気編)」が追加されているのを確認します。

⑦ <OK>をクリックし、設定マネージャを閉じます。



1. 画面構成

Tfasと同様の画面構成となっております。

▼【クイックアクセサバー】使用頻度の高いコマンドを表示

▼【ツールバー】自由にカスタマイズ可能

▲【ガイダンスバー】実行中のコマンドや操作説明を表示

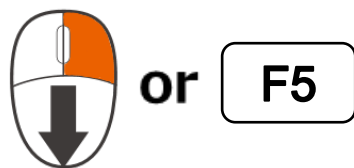
▼Tfasでも好評のシート機能を搭載

【マウスホイールボタン操作】
 画面の拡大 (PageUp) ↑ ↓ 画面の縮小 (PageDown)
 ※ホイールボタンを押したままドラッグすると画面移動（パニング）ができます。

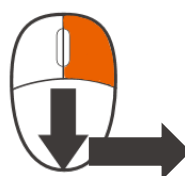
2. コマンドランチャー

コマンドの選択方法として、コマンドランチャーを追加しました。
 表示方法は二通りあり、よく使うページはデフォルトページとして設定できます。

最後に開いたページを開く場合
 右ボタン + 下ドラッグ F5キー

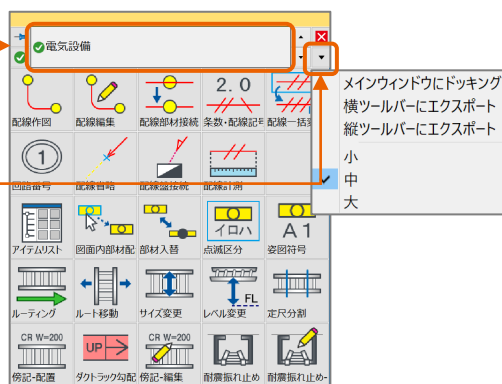


デフォルトページを開く場合
 右ボタン + L字ドラッグ



- ◆ ページ名表示欄
 マウスカーソルを置くと、ページ一覧が表示されます。
 ホイール操作でページ移動ができます。

- ◆ メニューボタン
 をクリックすると、選択中のページをツールバーとして
 エクスポートしたり、パネルの大きさを変更できます。



POINT

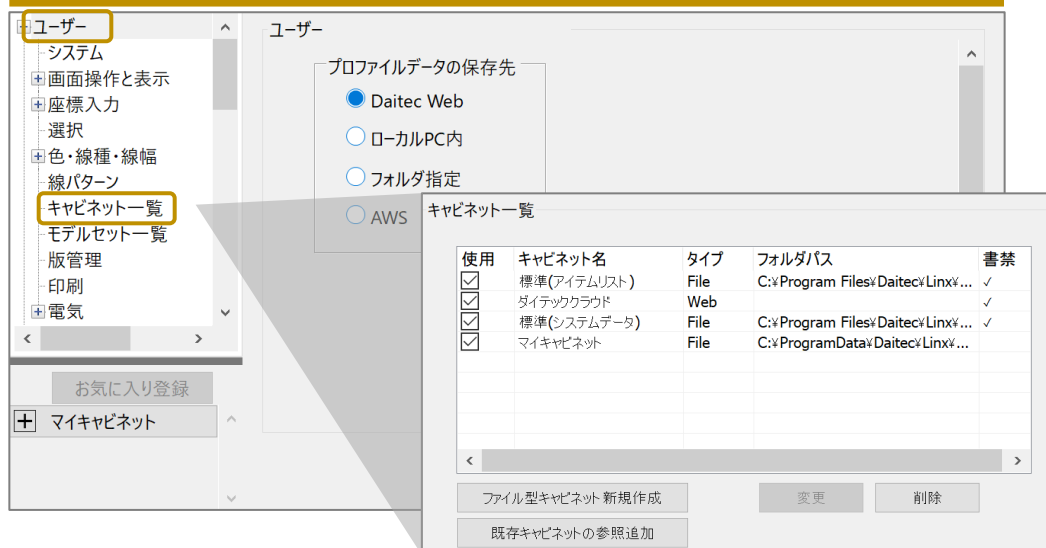
➤ コマンド選択の入り口を一か所に集約できるため、コマンドを探す手間を減らすことができます。

3-1. 設定マネージャ

Linuxの作図に必要な設定は、全て設定マネージャから行います。
右クリックメニュー[設定マネージャ]から起動します。

▼ [ユーザー]

個人ごとの環境(プロファイル)を設定できます。Tfasにおける「環境設定」です。
保存先をDaitec Webにすることで、どのパソコンからログインしても同じ設定で起動できます。

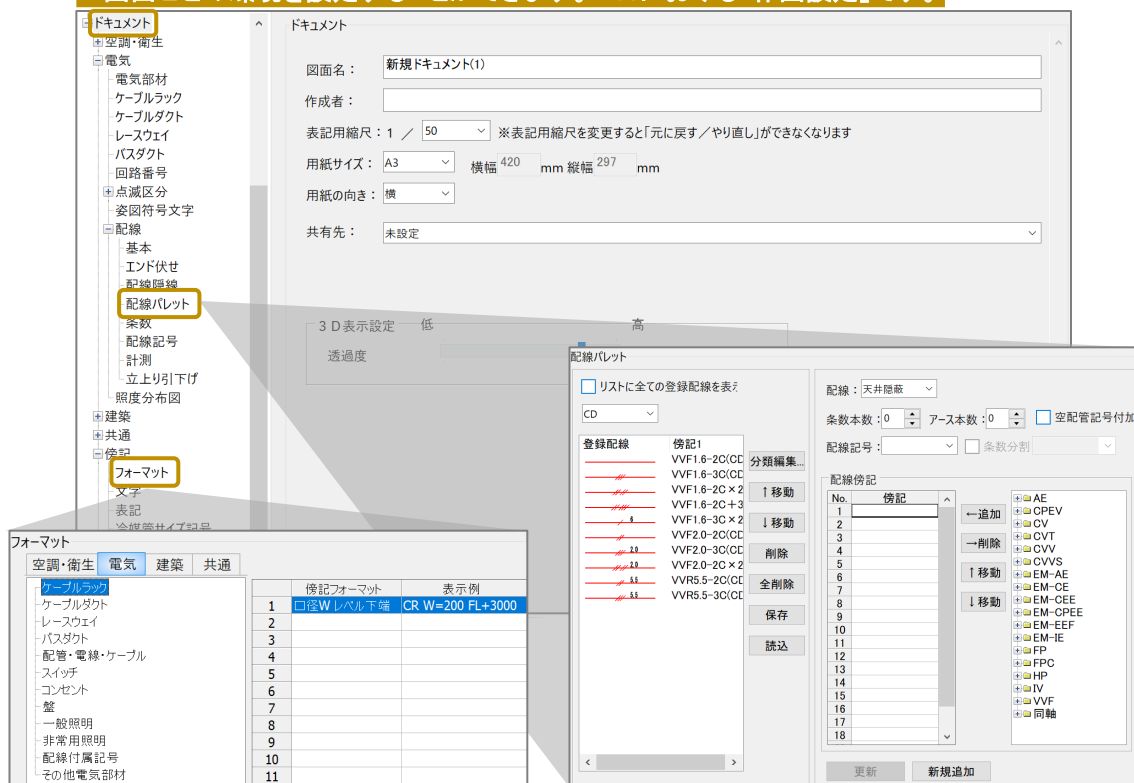


▲ [ユーザー - キャビネット一覧]

キャビネットの確認、新規作成・参照追加が可能です。

▼ [ドキュメント]

図面ごとの環境を設定することができます。Tfasにおける「作図設定」です。



▲ [ドキュメント - 傍記 - フォーマット]

各部材の傍記フォーマットを設定できます。

▼ [ドキュメント - 電気 - 配線 - 配線パレット]

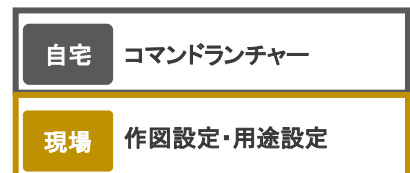
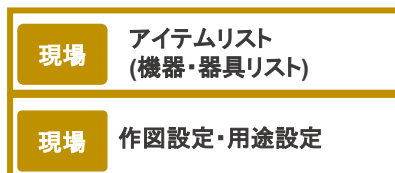
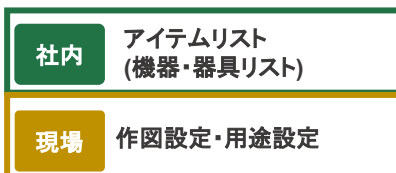
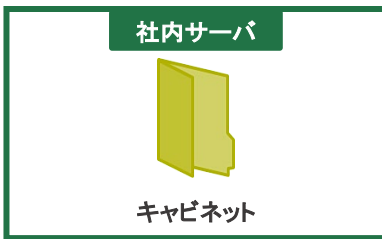
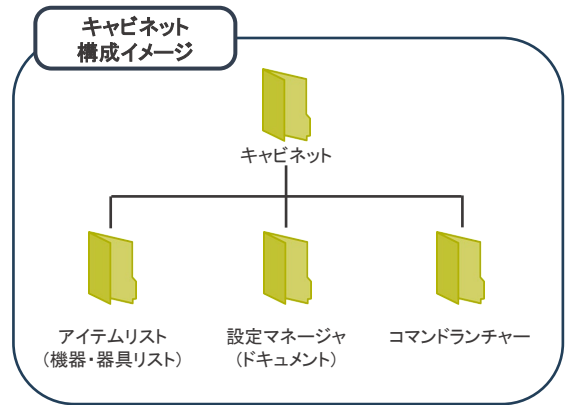
Tfasの設定を引き継ぐこともできます。

3-2. プロファイル



3-3. キャビネット

- ◆ 作成した部材や各種設定を社内や現場で簡単に共有できます。
- ◆ 適用するキャビネットを切り替えることで、現場ごとの設定を呼び出すことができます。



社員 Aさん

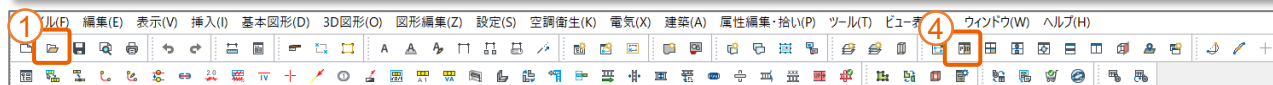


協力会社 Bさん




協力会社 Cさん

4. 3D展開



図面を開き、3D展開しましょう。

① メニューバー

「**ファイルを開く**」 を選択し、以下のファイルを開きます。

「LinuxV4体験セミナー(電気設備編)」フォルダ内
「Dラボ新築工事.linx」

② シートパターン

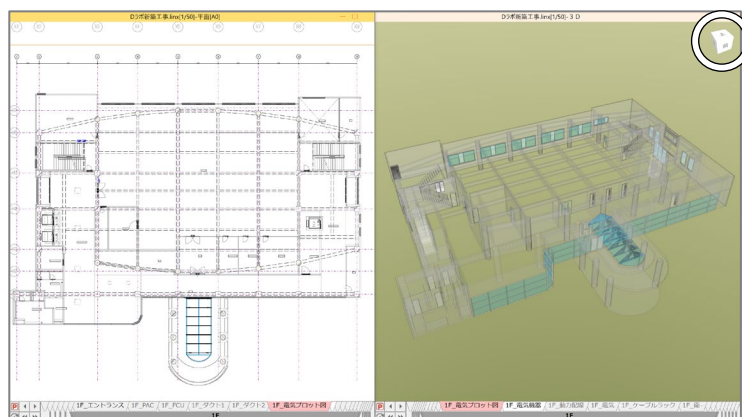
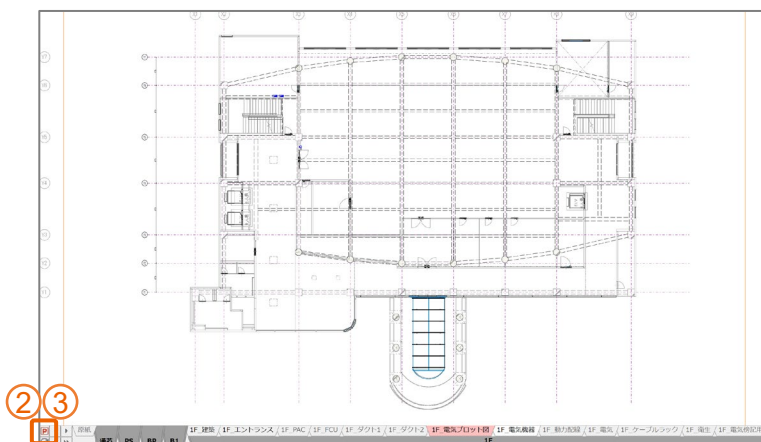
「**1F電気**」を選択します。

③ を右クリックし、


レイヤパターン「**1F電気**」を選択します。

④ ツールバー

「**平面+3D**」 を選択します。







POINT

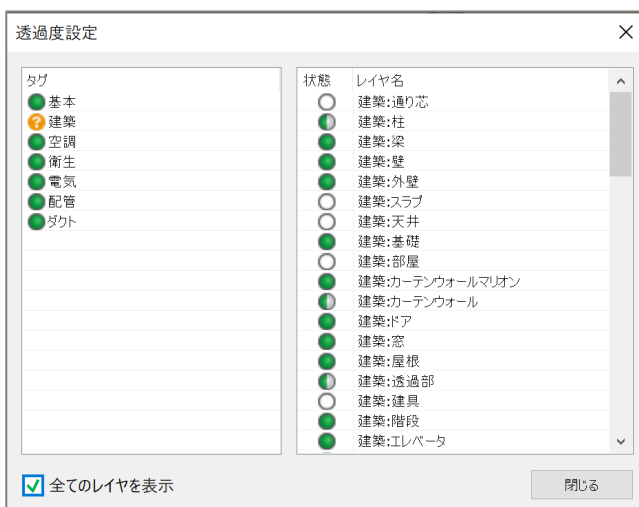
-  でシートパターンとレイヤパターンのどちらも起動できます。
左クリック: シートパターン
右クリック: レイヤパターン

- 3Dビューの回り込みは、画面右上の「オービットツール」を回転させて行うこともできます。



➤ ツールバー

「**レイヤ透過切替**」 で3Dの表示をレイヤごとに
実体  半透明  透明  に切り替えられます。



5-1. 照明器具配置

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 基本図形(D) 3D図形(O) 図形編集(Z) 設定(S) 空調衛生(K) 電気(X) 建築(A) 属性編集・拾い(P) ツール(T) ビュー表示(L) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)



照明器具を配置しましょう。

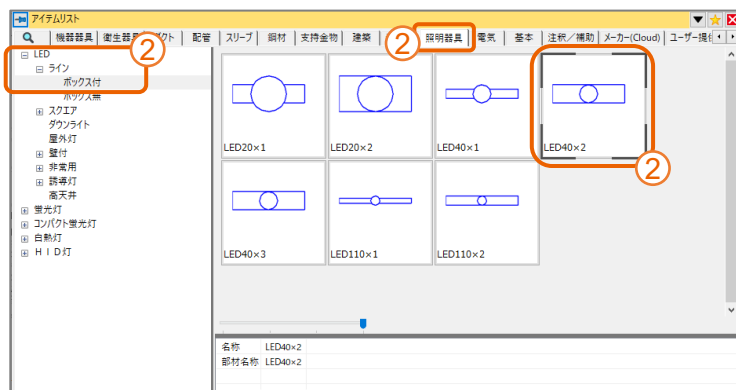
① ツールバー

[アイテムリスト]  を選択します。

② [照明器具]-[LED]

-[ライン]-[ボックス付]

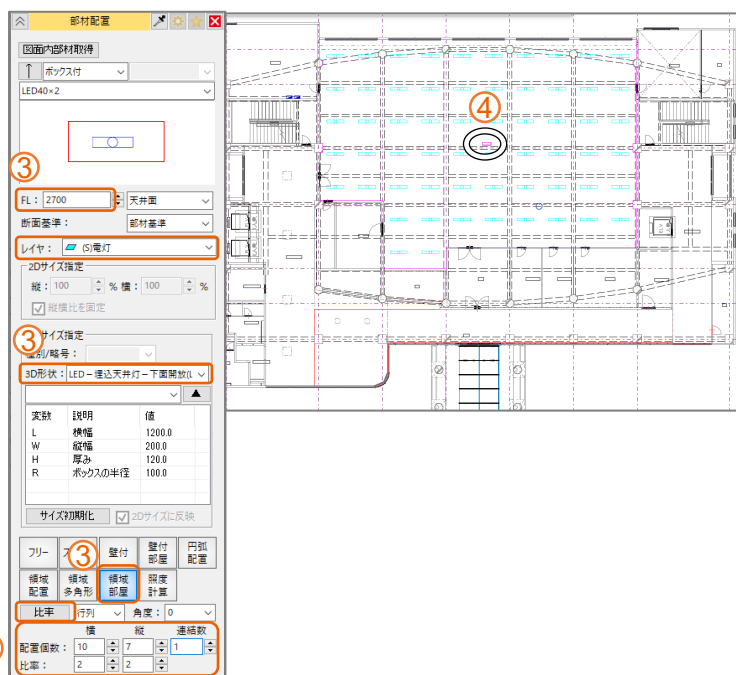
-[LED40×2]を選択します。



③ コマンドプロパティウィンドウで

以下の様に設定します。

FL : 2700
 レイヤ : 電気(S)電灯
 3D形状 : [LED]-
 [埋込天井灯]-
 [下面開放(LRS7)]
 配置方法: 領域部屋 比率



④ 図面内の「事務室」の文字を

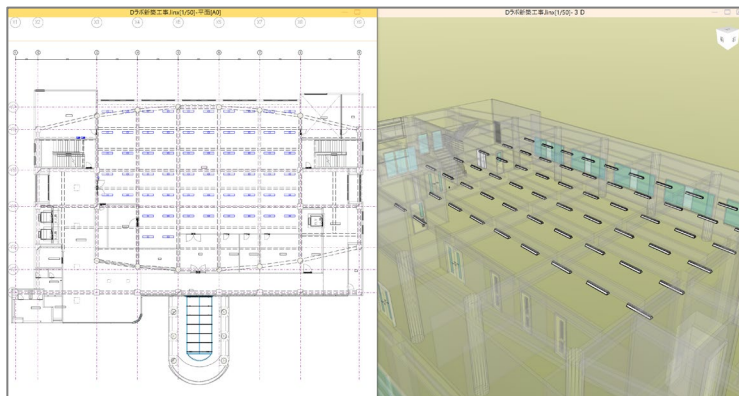
選択します。

⑤ コマンドプロパティウィンドウで

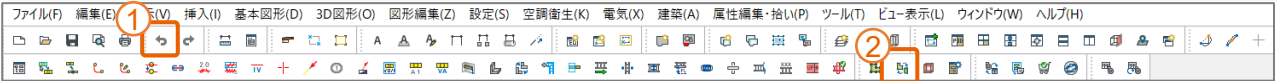
以下の様に設定します。

配置個数: 横10 縦7 連結数1
 比率 : 横2 縦2

⑥ <Enter>するとLEDが配置されます。




5-2. 照明器具自動配置




部屋情報を抽出し、Excelと連携して照明器具を配置しましょう。

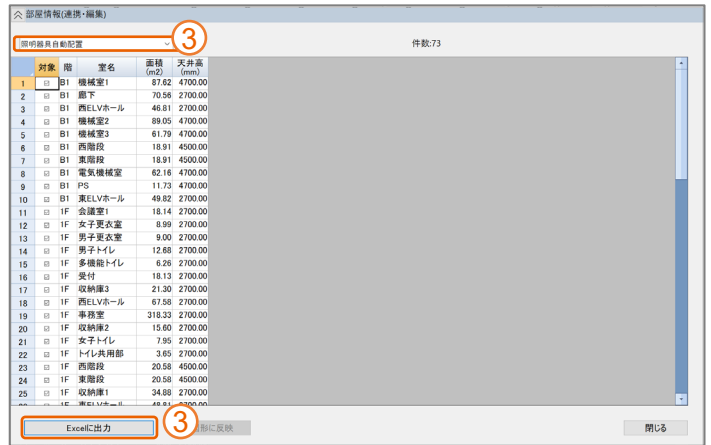
① ツールバー

「元に戻す」 を選択し、LED配置前の状態に戻します。

② ツールバー

「部屋情報(連携・編集)」 を選択します。

③ ダイアログから「照明器具自動配置」に設定し、「Excelに出力」を選択後、ダイアログとExcelファイルを閉じます。



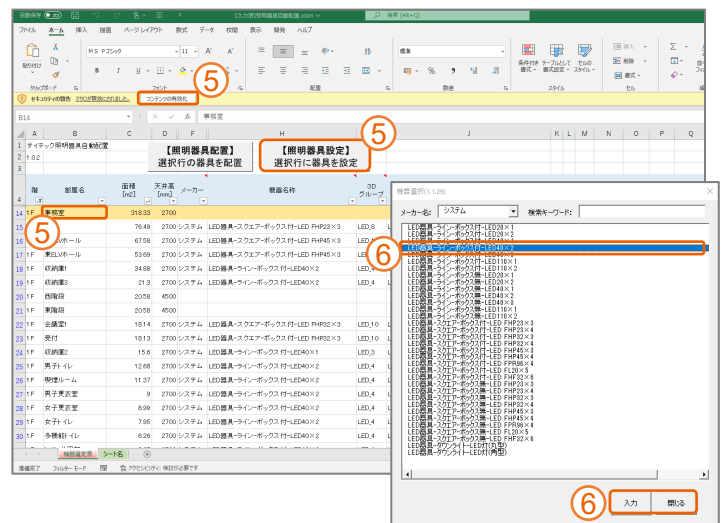
④ 今回は、あらかじめ記入した「【入力済】照明器具自動配置.xlsx」を開きます。

⑤ <コンテンツの有効化>をクリック後、部屋名「事務室」のセルを選択し、「照明器具設定」をクリックします。

⑥ 「LED器具-ライン-ボックス付-LED40×2」を選択し、<入力>をクリックした後、<閉じる>をクリックします。

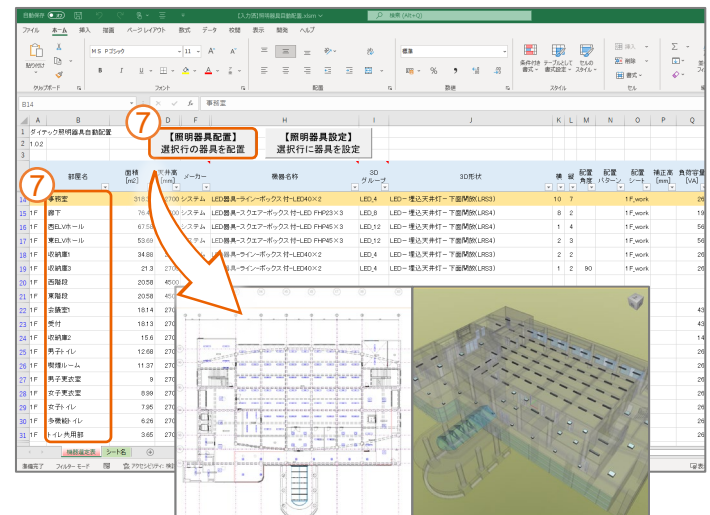
⑦ 部屋名のセルを全て選択し、<照明器具配置>をクリックします。

⑧ Linx画面を表示し、配置を確認します。

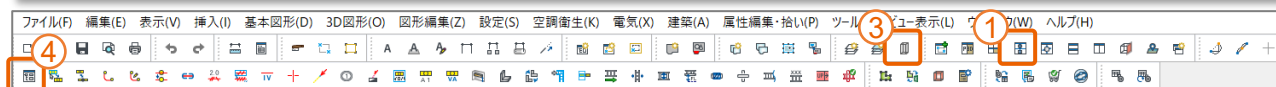


POINT

- モデルの部屋情報を活用した照明器具の配置が可能です。
- Excel上で変更した個数等の内容で配置が可能なため、効率よくシミュレーションできます。



6. スイッチ配置 ①





スイッチをオフセット配置し、オブジェクトプロパティで情報を編集しましょう。

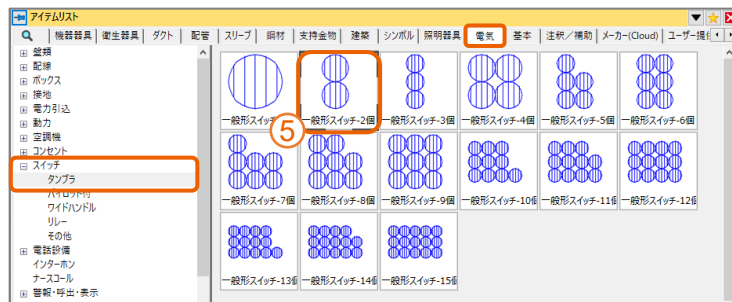
- ① ツールバー
「表示位置合わせ」 を選択します。

- ② 事務室の左側の壁にあるコンセント
(通り芯X3,Y5付近)をクリックします。



- ③ ツールバー
「3D透過表示切替」 をクリックし、
「表示」 に切り替えます。

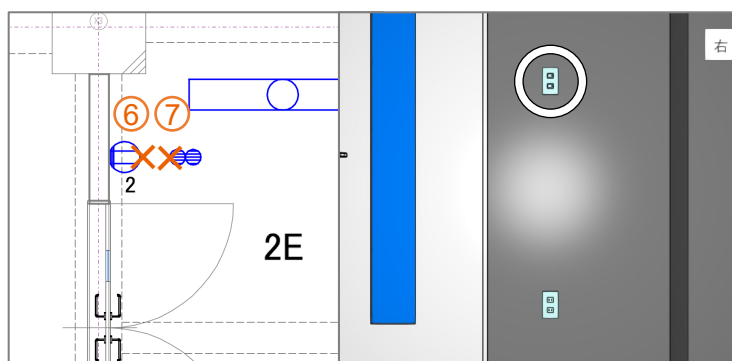
- ④ ツールバー
「アイテムリスト」 を選択します。




- ⑤ 「電気」-「スイッチ」-「タンブラ」-
「一般型スイッチ-2個」を選択します。

- ⑥ コンセントのシンボル上をクリックします。

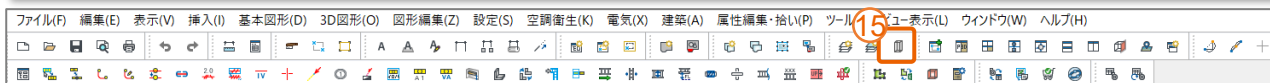
- ⑦ ホールドを「30,45°」に設定し、
コンセントの右側でクリックします。



POINT

- ツールバー
「表示位置合わせ」 を選択して
図形をクリックすると、2Dと3Dの
表示位置を合わせることができます。

6. スイッチ配置 ②




⑧ コマンドプロパティウィンドウで配置を「オフセット配置」に変更します。

⑨ 右クリックメニュー[相対距離]を選択し、基準点としてコンセントと壁の接点をクリックします。

⑩ カーソルを真上にもっていき、距離をキーボードから「100」と入力し<Enter>します。



⑪ 3Dビューで確認しながら、右図のように正面を向けクリックします。

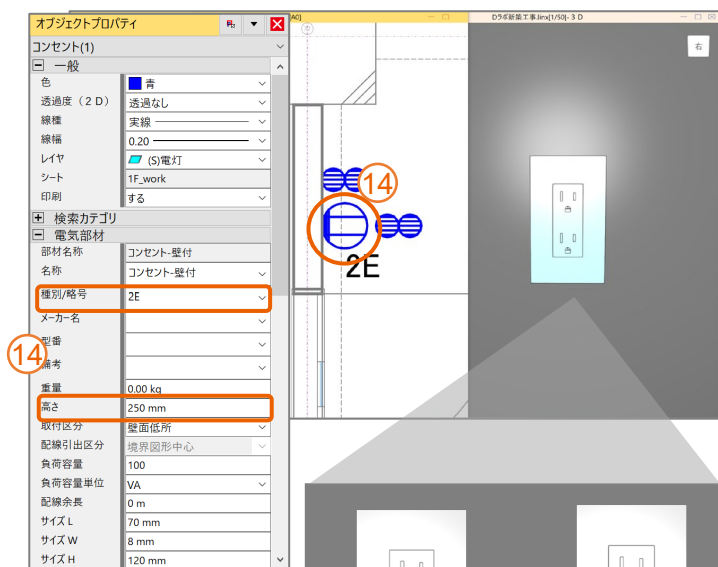
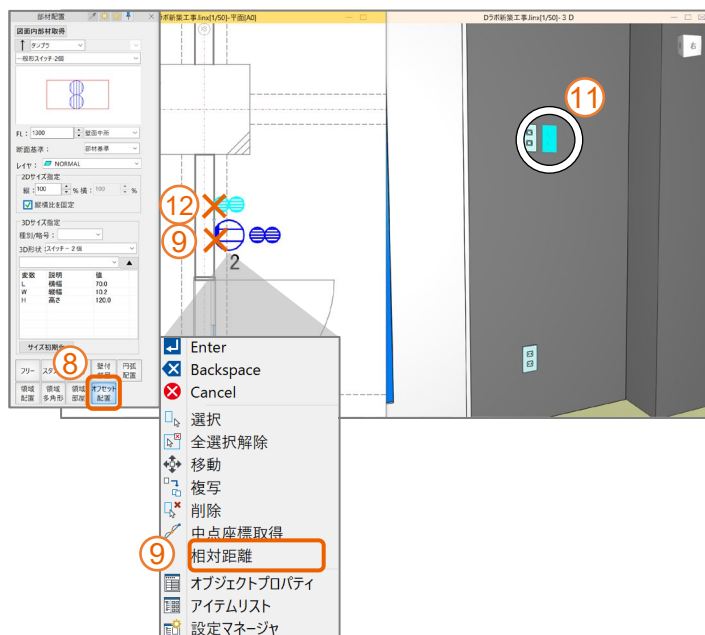
⑫ 平面絵柄の表示位置がコンセントのシンボルに重ならないように、クリックして配置を完了します。

⑬ 右クリックメニュー[オブジェクトプロパティ]  を選択し、コンセントを選択します。

⑭ オブジェクトプロパティウィンドウから、以下の様に設定します。

種別/略号 : 2E
高さ : 250

⑮ ツールバー
[3D透過表示切替]  をクリックし、「透過」  に切り替えます。



POINT

- 3D上での実際の配置箇所に対し、平面上では縦置き配置、横置き配置が可能です。
- オブジェクトプロパティウィンドウから部材情報の確認・編集ができます。

7-1. 配線作図



作図したLEDに配線を作図しましょう。


① 「1F電気」シートをクリックします。

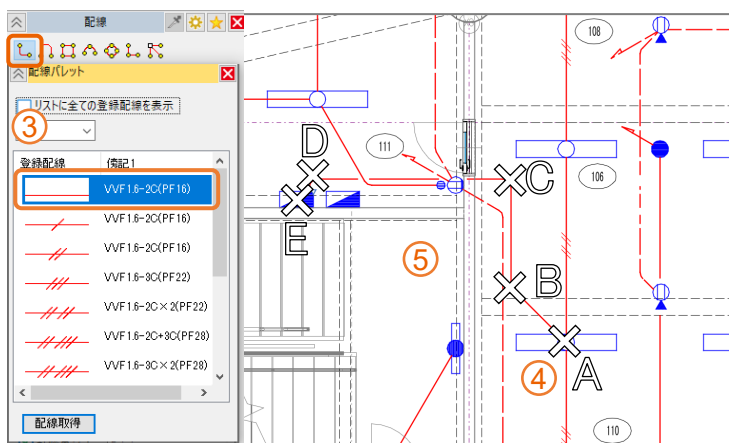


② ツールバー

「配線作図」 を選択します。

③ コマンドプロパティウインドウから
以下の様に設定します。

配線方法	: 通常配線 
配線パレット 	: VVF1.6-2C (PF16)



④ 通芯X3,Y5の右上にある
右図AのLEDを選択します。

⑤ 3点B、C、Dの位置を順に
クリックし、左側の分電盤Eを選択
して<Enter>します。

⑥ ツールバー

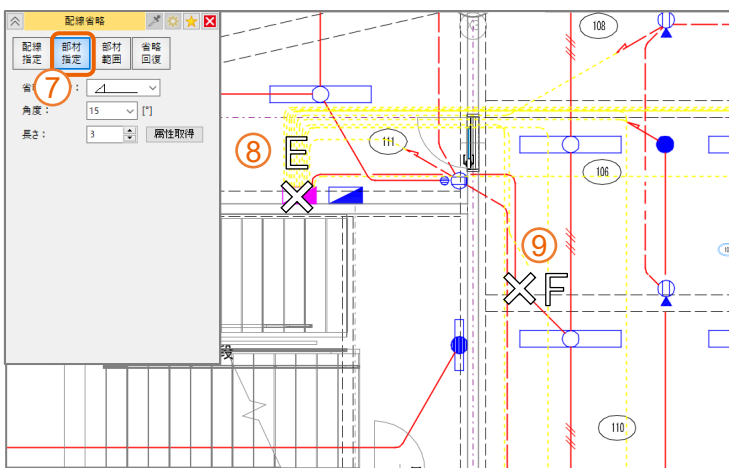
「配線省略」 を選択します。

⑦ コマンドプロパティウインドウから
「部材指定」を選択します。

⑧ 対象部材として配線を行った
分電盤Eを選択します。

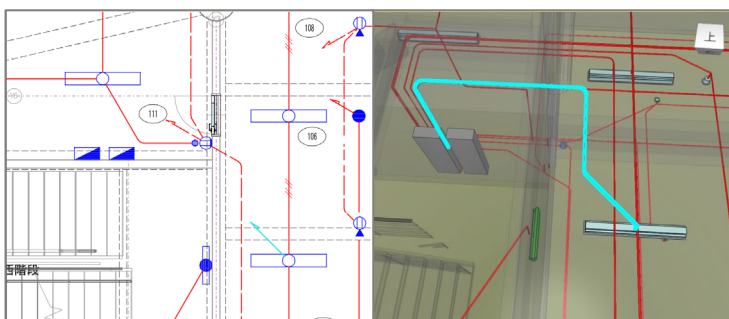
⑨ 省略点として点Fを選択します。

⑩ <Enter>すると指定した点の位置で
配線が省略されます。

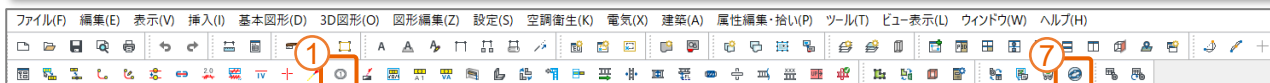


POINT

- 平面で省略した配線は、3Dビュー
では接続が保持されたままです。



7-2. 回路番号作図




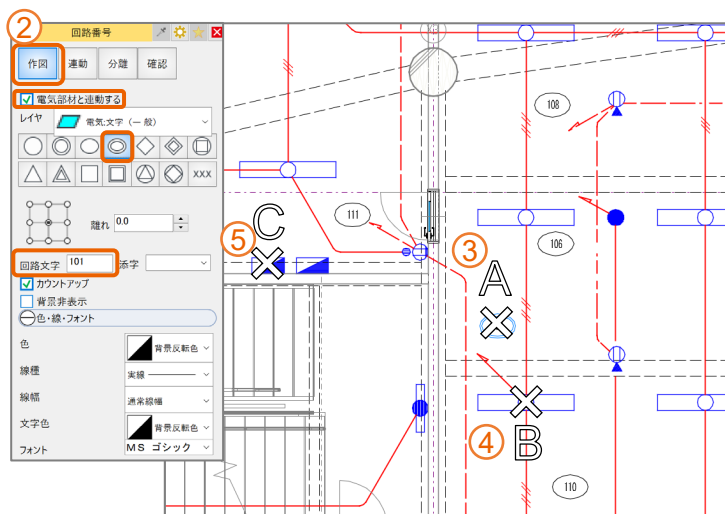
回路番号作図と回路情報付加を同時に行いましょう。

① ツールバー

[回路番号]  を選択します。

② コマンドプロパティウィンドウで以下の様に設定します。

サブコマンド : 作図
 電気部材と連動する : チェック有
 形状 : 二重楕円 
 回路文字 : 101



③ 右図Aの位置をクリックし、回路番号「101」を作図します。

④ BのLEDを選択し、接続されている部材が選択状態になったのを確認して<Enter>します。

⑤ Cの分電盤を指定して情報を付加します。

⑥ シートパターン [1F-3F電気]を選択します。

⑦ ツールバー

[システム管理]  を選択します。

⑧ 「対象」で[(Linux体験セミナー電気編)回路負荷容量確認]を選択します。

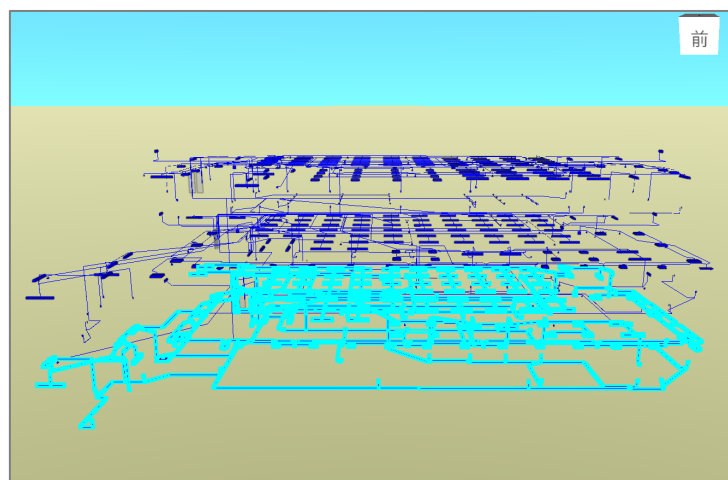
⑨ 盤名称の「1L-1-1」のセルをクリックして選択状態にし、<選択列の集約>をクリックします。

POINT

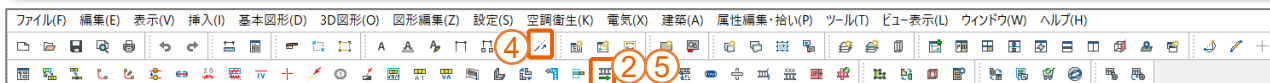
- 盤に接続された回路の合計負荷容量を視覚的に確認・編集することができます。

[(Linux体験セミナー電気編)回路負荷容量確認]

盤名称	回路文字	部材名称	表示Lev	形状	電圧V	負荷内容	負荷容量Σ	数量Σ
1L-1-1	101><102><103><1><LED FHP23×3><LED <2><3>	<一重楕円><二重楕円><100><200><コンセント><照明>					9710.0	401
1P-1	<01><02>	<コンセント><天井付-2P><1><2><3>			200	空調機	2389.0	38
2L-1-2	<101><102><103><1><LED FHP23×3><LED <1><2><3><4>	<一重楕円><二重楕円><100><200><コンセント><照明>					10103.0	404
2P-2	<101><102>	<コンセント><天井付-2P><1><2><3>			200	空調機	2400.0	38
3L-1-3	<101><102><103><1><LED FHP23×3><LED <1><2><3><4>	<一重楕円><二重楕円><100><200><コンセント><照明>					10633.0	448
3P-3	<01><02><03>	<コンセント><天井付-2P><2><3>			200	空調機	2720.0	55
81L-2	<層101><層102>	<LED20×1(壁付)><回路<1><2><3>			100	照明	192.0	24



8-1. ラック作図




PSシートに縦ラックを作図し、各フロアのラックと接続しましょう。

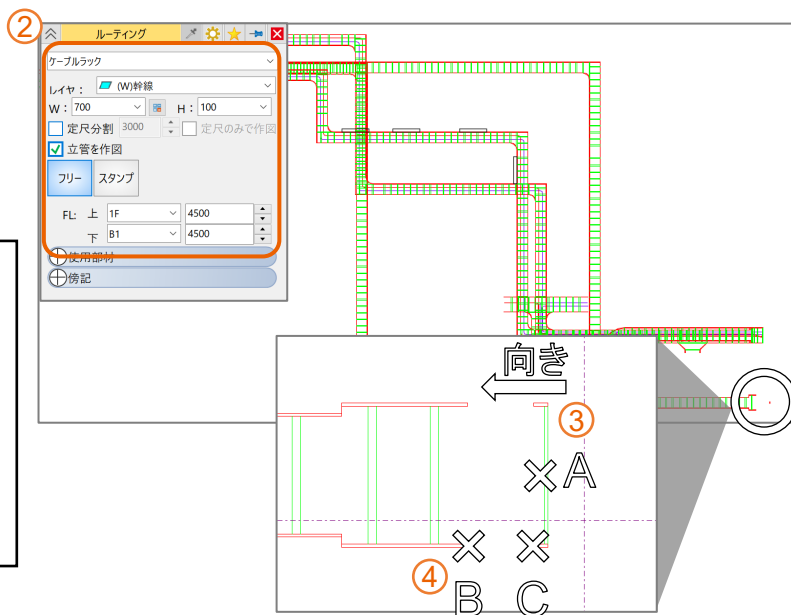
① シートパターン

「ラック作図」を選択します。

② ツールバー


「ルーティング」を選択し、コマンドプロパティウインドウで以下の様に設定します。

種類	: ケーブルラック
レイヤ	: (W)幹線
サイズ	: (W)700(H)100
立管を作図	: チェック有
配置方法	: フリー
FL : 上	: (1F)4500
: 下	: (B1)4500




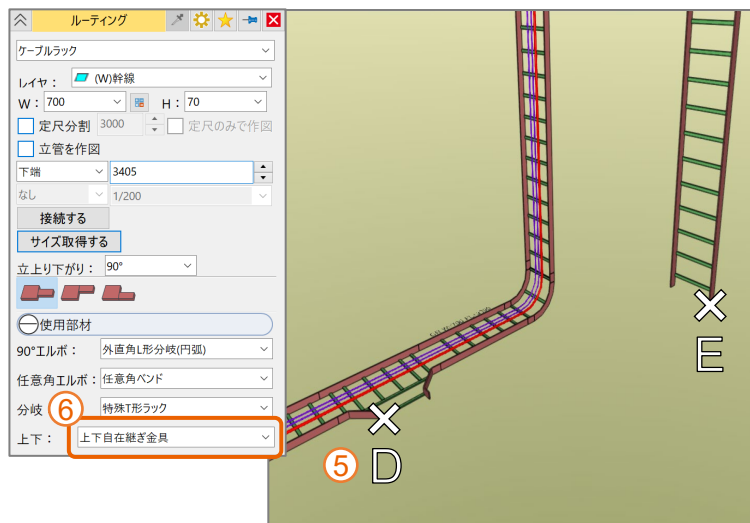
③ 補助点Aを選択し、右図の向きで作図します。

④ ツールバー

「伸縮」を選択し、ラックの点Bをクリック後、端点Cをクリックして接続します。

⑤ ツールバー

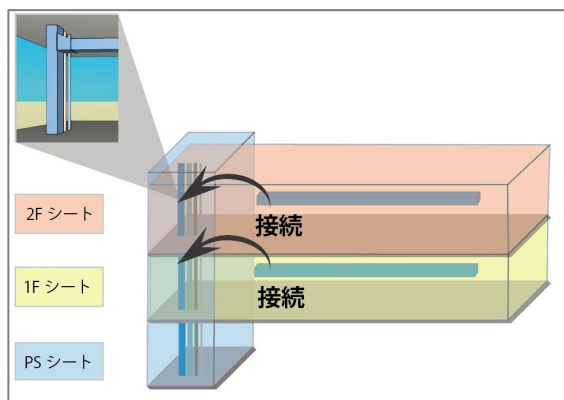
「ルーティング」を選択し、3Dビュー上で右図のラックの端点D,Eをクリックして接続します。



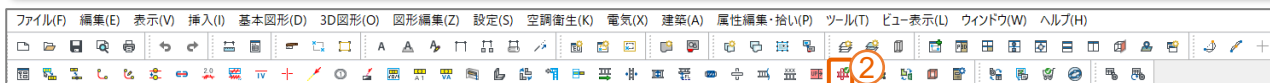
⑥ コマンドプロパティウインドウで継ぎ手を「上下自在継ぎ金具」に変更して<Enter>します。

POINT

- 3Dビューではガイドリングを使用して、角度補正しながらルーティングができます。
- PSシートは複数階にまたがって作図でき、各階のケーブルラック・バスダクトと接続可能です。



8-2. 干渉検査



干渉検査をして干渉箇所の一覧をExcelに出力しましょう。

① シートパターン

[階表示切替]でB1に切り替えます。

② ツールバー

[干渉検査]  を選択します。

③ 以下の項目にチェックを入れ、 <干渉検査実行>をクリックします。

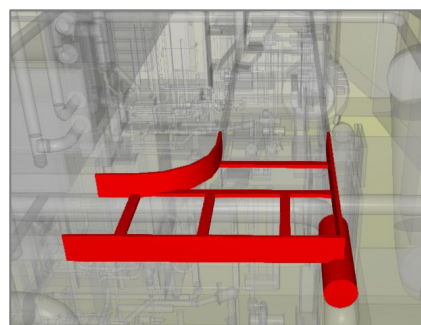
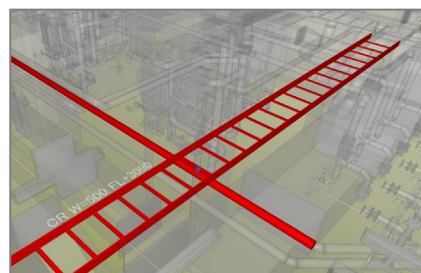
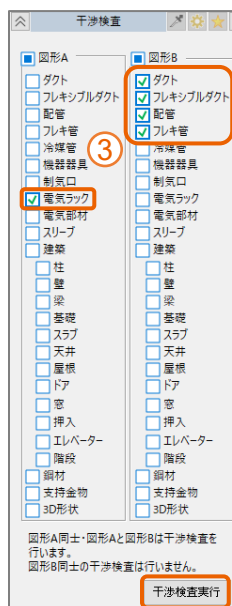
図形A: 電気ラック

図形B: ダクト

フレキシブルダクト

配管

フレキ管



④ 「イメージを表示する」にチェックを入れ、 <Excel出力>をクリックします。

※「干渉図形以外を半透明にする」
にチェックを入れると干渉箇所を
確認しやすくなります。



⑤ Excel上で「No.8」の干渉イメージを クリックして、Linuxに画面を切り替え ます。

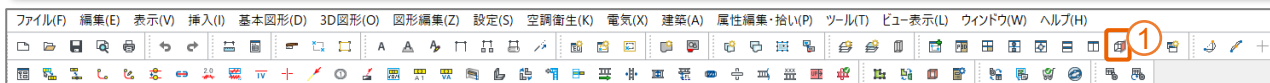
⑥ 干渉チェックをEnterで終了します。

POINT

- Excelで干渉イメージをクリックすると、
その干渉箇所が拡大表示されます。



8-3. クリッピング



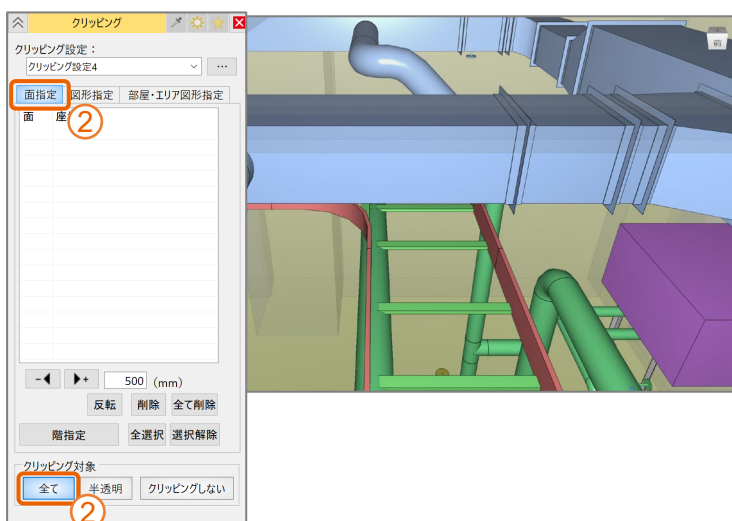
3Dビューで不要な部分を取り除き、見たい範囲だけを表示しましょう。

① ツールバー

[クリッピング]  を選択します。

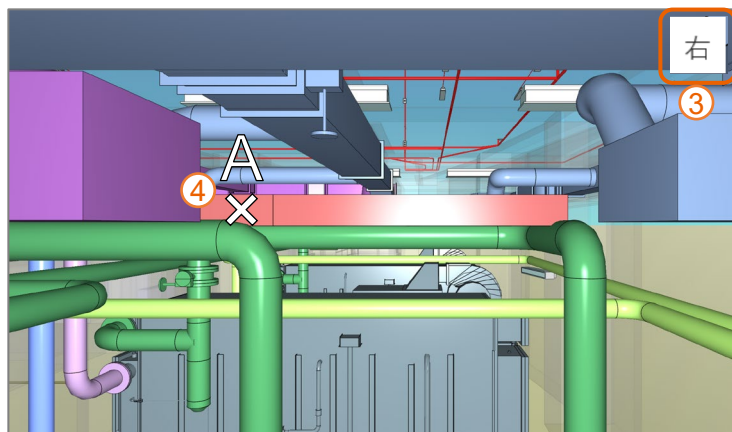
② 指定方法は[面指定]、クリッピング対象は[全て]に設定します。

③ 「オービットツール」を回転させて、「右」をクリックします。

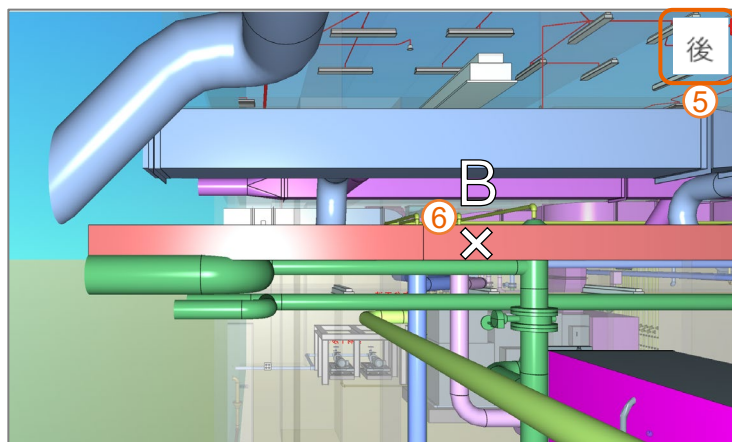


④ ケーブルラックの側面Aをクリックします。(継手は面指定の対象になりません。)

⑤ 「オービットツール」を回転させて、「後」をクリックします。



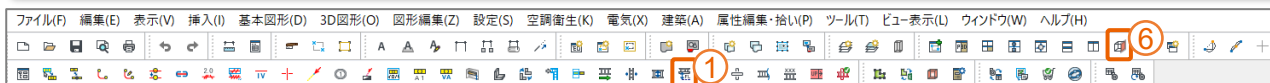
⑥ ケーブルラックの側面Bをクリックします。(継手は面指定の対象になりません。)



POINT

- 階やエリアを指定して特定の領域のみ表示することが可能です。

8-4. ラック編集 (FL変更)



干渉を回避するために3Dビューでラックを編集しましょう。

① ツールバー

[レベル変更]  を選択します。

② コマンドプロパティウィンドウの

[区間]を選択します。

③ 3Dビューで、移動する部材区間の


始点Aをクリックします。

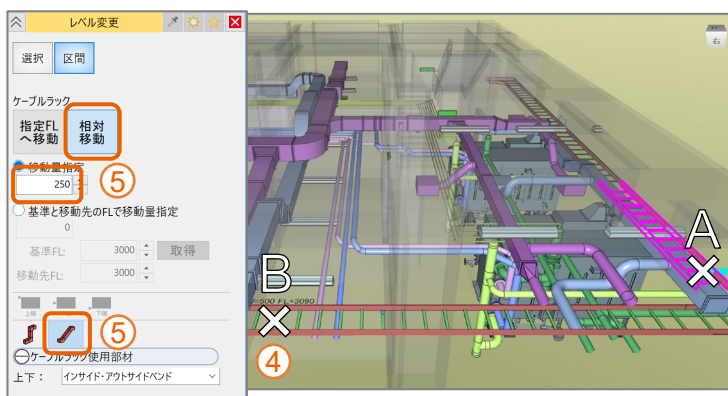
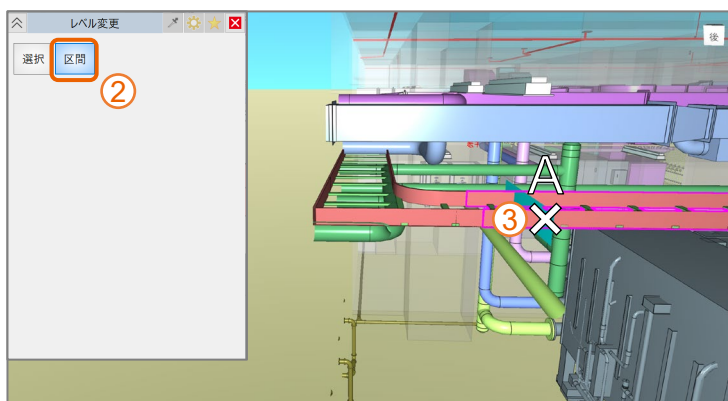
④ 3Dビューを回転させて、配管と干渉

しているラックの先で終点Bをクリックします。

⑤ コマンドプロパティウィンドウ

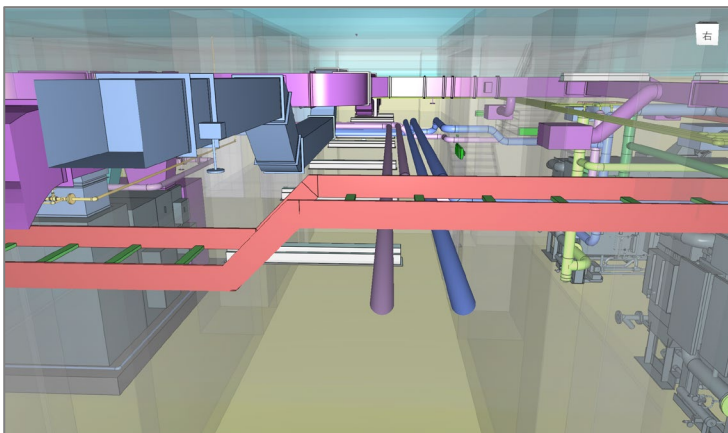
で以下の様に設定し、<Enter>して干渉を回避します。

移動方法	: 相対移動
移動量	: 250
立ち上げ方法	: 45度 

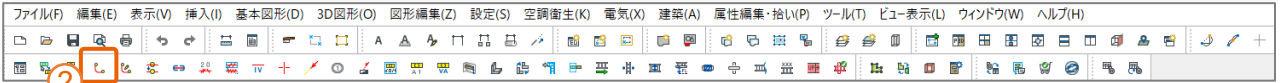


⑥ ツールバー[クリッピング] より

対象を[クリッピングしない]に指定し、クリッピング前の状態に戻します。



8-5. ラックケーブル作図






ケーブルラック上に配線を作図しましょう。

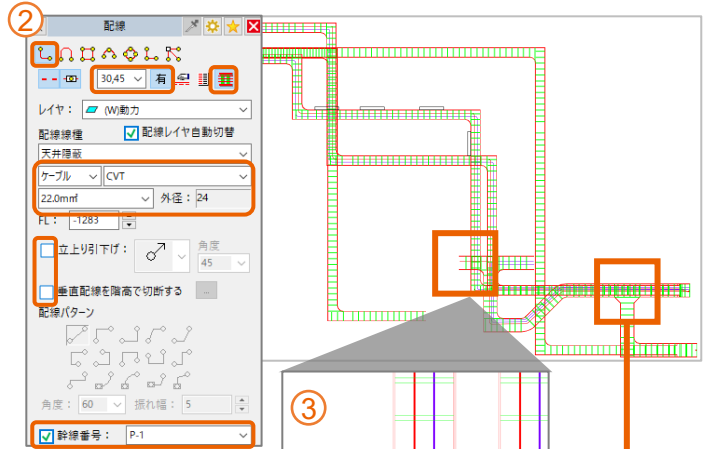
① シートパターン

[ラック配線]を選択します。

② ツールバー

[配線作図]  を選択し、コマンドプロパティウインドウで以下の様に設定します。

配線方法	: 通常配線 
配線作図補正角度	: 30,45
配線補正モード	: 電気部材補正あり
ラック配線自動整列	: 有り 
レイヤ	: (W)動力
配線線種	: [ケーブル] - [CVT] - [22.0mm ²]
立上り引下げ	: <input type="checkbox"/> (チェック無し)
垂直配線を階高で切断する	: <input type="checkbox"/>
幹線番号	: <input checked="" type="checkbox"/> [P-1]



③ 平面ビューでラックの点Aをクリックします。

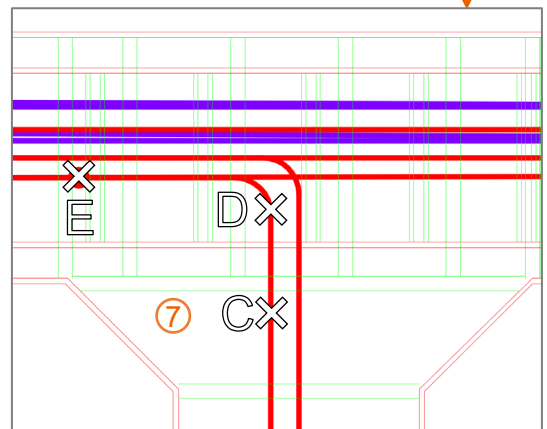
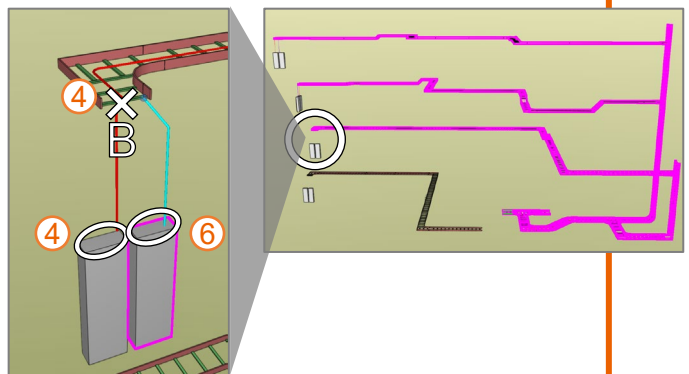
④ 3Dビューで1Fのラック端点Bをクリックし、続けて左側の分電盤の上面をクリックして、<Enter>で接続します。

⑤ 続いて、電灯用ケーブルを作図するため、コマンドプロパティウインドウで以下の様に設定します。

レイヤ	: (W)電灯
幹線番号	: <input checked="" type="checkbox"/> [L-1-1]

⑥ 3D側から右側の分電盤の上面をクリックし、ラックの端点Bをクリックします。

⑦ 2D側から右図を参考にC、D、Eの順にクリックします。




8-6. ラック定尺分割

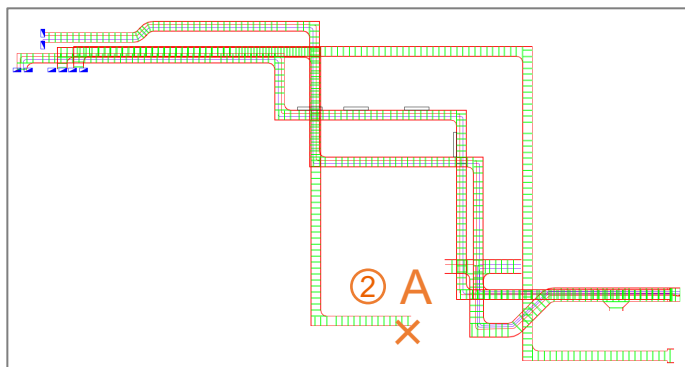


作図済みのラックを定尺分割しましょう。

① メニューバー

[電気]-[ラック・ダクト・レースウェイ・バスダクト]-[定尺分割]  を選択します。

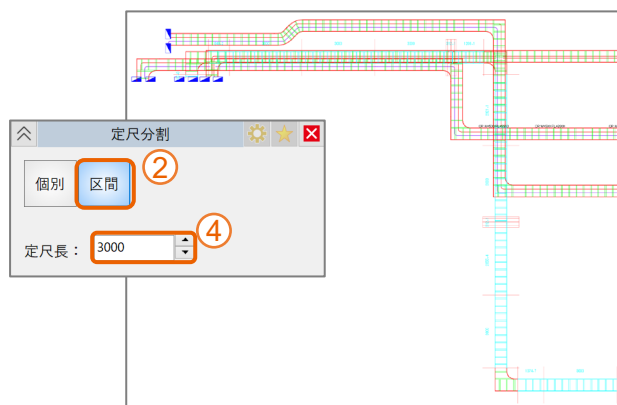
② コマンドプロパティウインドウで選択方法を[区間]に切り替え、右図のラックの端点Aをクリックします。



③ 同じ用途の接続ルートを全て選択するため、<Enter>します。

④ コマンドプロパティウインドウで定尺長を「3000」と入力します。

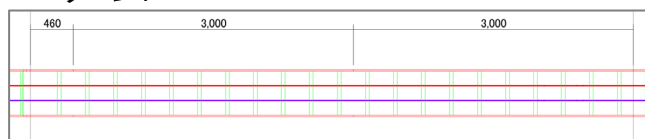
⑤ 分割パターンが仮表示されるので、そのまま<Enter>します。



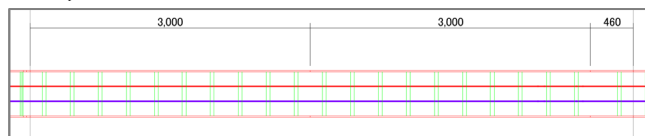
POINT

- 開始地点と終了地点を選択するだけで、区間全体を定尺分割することができます。
- <Ctrl>+左クリックで、分割開始位置を変更できます。
- 系統管理機能を使用することで、各配線の長さや幹線番号等の情報を視覚的に確認・編集することができます。
- ここでは「(Linux体験セミナー電気編)幹線系統確認」を選択すると、作図した幹線の系統を確認することができます。

パターン1



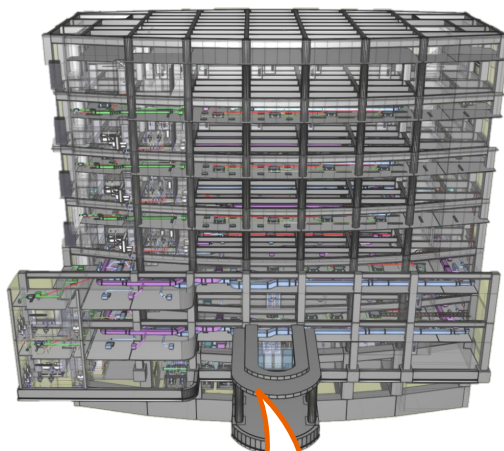
パターン2



系統管理					
対象: (Linux体験セミナー電気編) 幹線系統確認					
選択セルの高性変更 選択列の色分け 選択列の集約					
選択図形数: 4		対象列: 幹線番号		総図形数: 10	
幹線番号	標記1	接続(負荷側)	接続(電源側)	長さ	計算サイズ
L-1	CVT100	分岐	分岐	<1031.9> <11660.2> <13709.6> <4330.0>	
L-1-1	CVT22	分岐	1L-1-1	61532.3	
L-1-2	CVT22	分岐	2L-1-2	48656.7	
L-1-3	CVT22	分岐	3L-1-3	48380.4	
P-1	CVT22	1P-1		72909.2	
P-2	CVT22	2P-2		73311.3	
P-3	CVT22	3P-3		77410.1	

9. 属性検索・編集

Linuxでは、モデルをデータベースとして扱えるため、全ての部材情報を検索し、出力することができます。また、検索する属性情報は任意に設定でき、Excelの出力フォーマットも任意に設定できるため、様々な用途でご活用いただけます。



任意の属性情報を検索

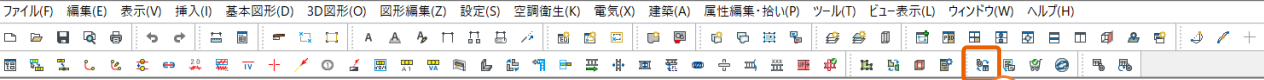
[illegible]

任意のExcelフォーマットへ出力

The screenshot shows an Excel spreadsheet titled "品目管理表1 - Excel". The ribbon includes tabs like "ファイル", "ホーム", "挿入", "描画", "ページレイアウト", "数式", "データ", "表示", "開発", and "ヘルプ". The formula bar displays "M14".

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	盤名称	IL-1-1	仕様記号		電源種別		電気方式		
2			電圧		周波数		主開閉機		
3	図略番号	図略図記号	分岐開閉器	部品名称	数量	負荷容量(単体)	負荷容量(計)	盤名称	図略図種別
4	106			超難口誘導灯3×片面左方向（壁置付型）	3	9		1L-1-1	一重橋円
5	104			LED40×2	20	26		1L-1-1	二重橋円
6	102			LED40×2	26	26		1L-1-1	二重橋円
7	101			LED40×2	20	26		1L-1-1	二重橋円
8	103			LED40×2	4	26		1L-1-1	二重橋円
9	105			LED40×2	4	26		1L-1-1	一重橋円
10	106			LED灯（非常照明用）	19	7		1L-1-1	一重橋円
11	105			LED FHP45×3	8	58		1L-1-1	一重橋円
12	105			LED FHP23×3	12	19		1L-1-1	一重橋円
13	104			LED40×1	4	14		1L-1-1	二重橋円
14	103			LED FHP32×3	8	43		1L-1-1	二重橋円
15	105			LED40×1・壁付	2	17		1L-1-1	一重橋円
16	104			LED40×1・壁付	1	17		1L-1-1	二重橋円
17	102			LED40×1・壁付	1	17		1L-1-1	二重橋円
18	106			LED20×1	2	8		1L-1-1	一重橋円

9. 属性検索・編集 ①



任意の属性を抽出し、指定したフォーマットのExcelに出力しましょう。

① シートパターン

[電気全編集]を選択します。

② を右クリックし、レイヤパターン

[電気全編集]を選択します。

③ ツールバー

[属性検索・編集] を選択します。

④ [電気設備] - [照明器具]にチェック
を入れ、<検索実行>をクリックします。

⑤ 盤名称で絞るため、以下条件に設定
し、再度<検索実行>をクリックします。

条件 : 盤情報
条件属性 : 盤名称
キーワード : L-1-1
検索方法 : 部分一致

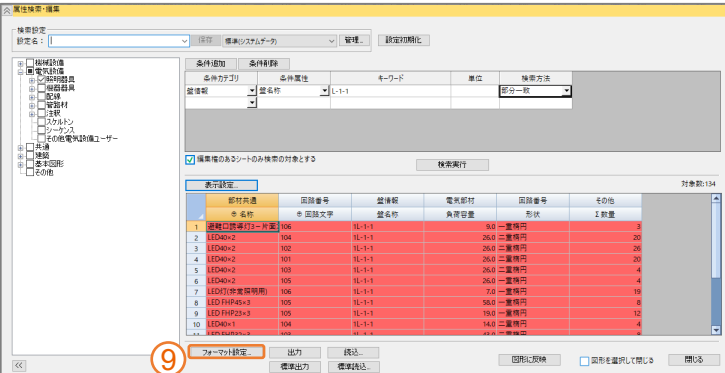
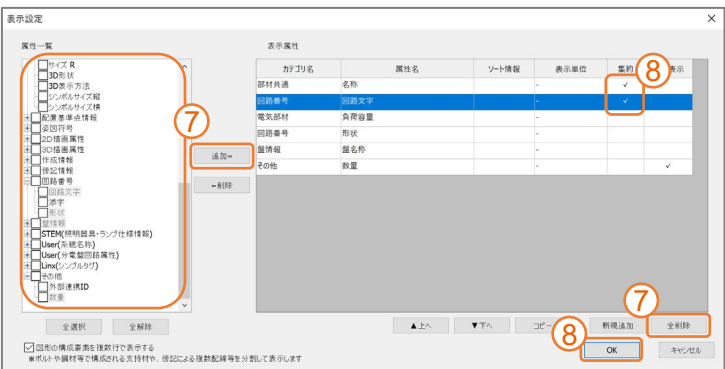
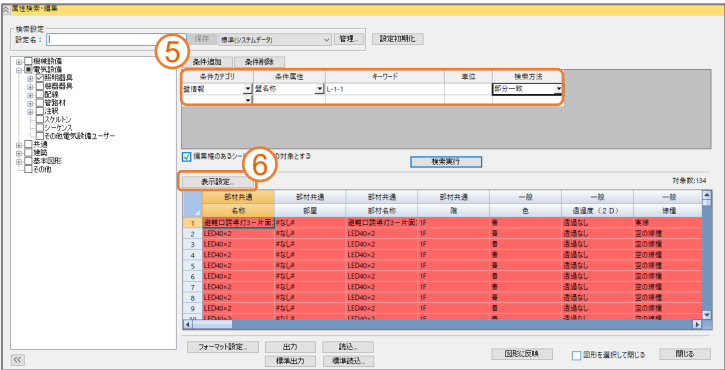
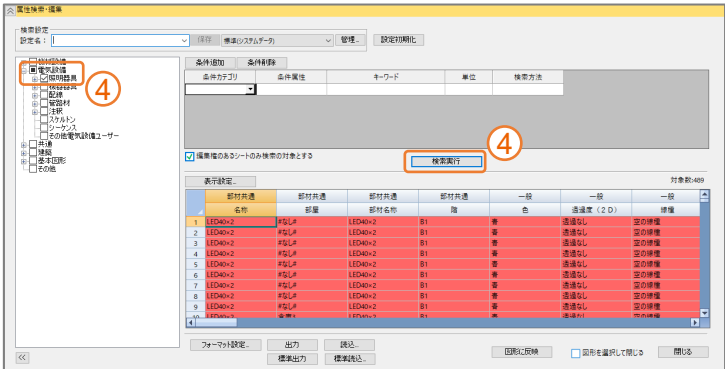
⑥ <表示設定>をクリックします。

⑦ <全削除>をクリック後、属性一覧の
以下にチェックを入れ、<追加>をク
リックします。

カテゴリ名	属性名
部材共通	名称
電気部材	負荷容量
回路番号	回路文字
回路番号	形状
盤情報	盤名称
その他	数量

⑧ 以下属性の[集約]列でクリックして
✓チェックを入れ、<OK>します。

- ・部材共通 - 名称
- ・回路番号 - 回路文字



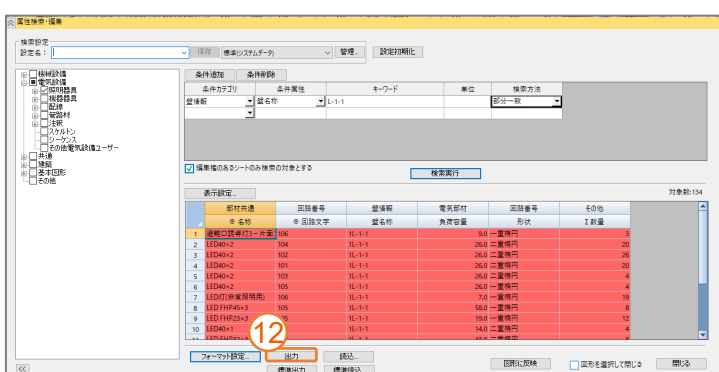
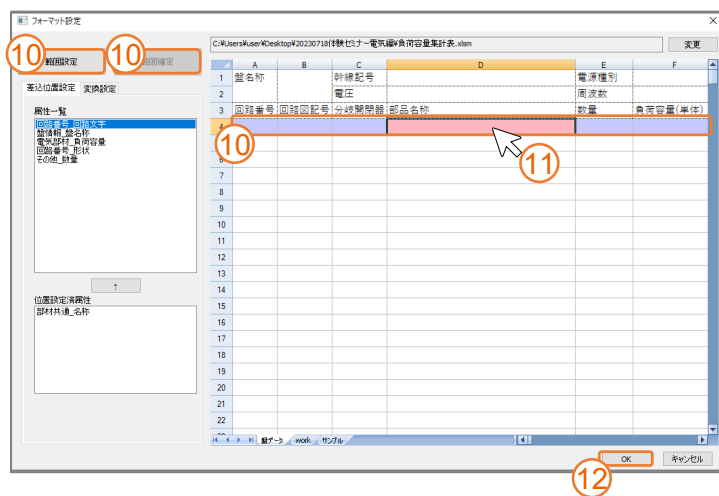
9. 属性検索・編集 ②

⑨ <フォーマット設定>をクリックし、
「**負荷容量集計表.xlsm**」を選択します。

⑩ <範囲設定>をクリック後、属性を出力するセル範囲(**A4~I4**)を選択し、
<範囲確定>をクリックします。

⑪ 下記表の通り、属性の出力先(セル)を指示します。
※属性一覧で属性を選択後、出力するセルをクリックすると設定できます。

属性	セル
部材共通_名称	D4
回路番号_回路文字	A4
電気部材_負荷容量	F4
回路番号_形状	I4
盤情報_盤名称	H4
その他_数量	E4



⑫ <OK>をクリック後、<出力>をクリックします。

⑬ Excelを開き、<回路集計>をクリックすると、盤の負荷容量合計が集計されます。


回路番号	回路文字	回路形状	盤名称	数量	電気部材	負荷容量	回路番号	回路文字	回路形状	盤名称	数量
1	106	LED40×2	1L-1-1	3	LED40×2	20	1L-1-1	1	LED40×2	20	1L-1-1
2	104	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	2	LED40×2	20	1L-1-1
3	102	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	3	LED40×2	20	1L-1-1
4	101	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	4	LED40×2	20	1L-1-1
5	103	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	5	LED40×2	20	1L-1-1
6	105	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	6	LED40×2	20	1L-1-1
7	107	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	7	LED40×2	20	1L-1-1
8	108	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	8	LED40×2	20	1L-1-1
9	109	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	9	LED40×2	20	1L-1-1
10	110	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	10	LED40×2	20	1L-1-1
11	111	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	11	LED40×2	20	1L-1-1
12	112	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	12	LED40×2	20	1L-1-1
13	113	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	13	LED40×2	20	1L-1-1
14	114	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	14	LED40×2	20	1L-1-1
15	115	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	15	LED40×2	20	1L-1-1
16	116	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	16	LED40×2	20	1L-1-1
17	117	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	17	LED40×2	20	1L-1-1
18	118	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	18	LED40×2	20	1L-1-1
19	119	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	19	LED40×2	20	1L-1-1
20	120	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1
21	121	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	21	LED40×2	20	1L-1-1
22	122	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	22	LED40×2	20	1L-1-1
23	123	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	23	LED40×2	20	1L-1-1
24	124	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	24	LED40×2	20	1L-1-1
25	125	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	25	LED40×2	20	1L-1-1
26	126	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	26	LED40×2	20	1L-1-1
27	127	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	27	LED40×2	20	1L-1-1
28	128	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	28	LED40×2	20	1L-1-1
29	129	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	29	LED40×2	20	1L-1-1
30	130	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	30	LED40×2	20	1L-1-1
31	131	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	31	LED40×2	20	1L-1-1
32	132	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	32	LED40×2	20	1L-1-1
33	133	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	33	LED40×2	20	1L-1-1
34	134	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	34	LED40×2	20	1L-1-1
35	135	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	35	LED40×2	20	1L-1-1
36	136	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	36	LED40×2	20	1L-1-1
37	137	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	37	LED40×2	20	1L-1-1
38	138	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	38	LED40×2	20	1L-1-1
39	139	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	39	LED40×2	20	1L-1-1
40	140	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	40	LED40×2	20	1L-1-1
41	141	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	41	LED40×2	20	1L-1-1
42	142	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	42	LED40×2	20	1L-1-1
43	143	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	43	LED40×2	20	1L-1-1
44	144	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	44	LED40×2	20	1L-1-1
45	145	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	45	LED40×2	20	1L-1-1
46	146	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	46	LED40×2	20	1L-1-1
47	147	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	47	LED40×2	20	1L-1-1
48	148	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	48	LED40×2	20	1L-1-1
49	149	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	49	LED40×2	20	1L-1-1
50	150	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	50	LED40×2	20	1L-1-1
51	151	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	51	LED40×2	20	1L-1-1
52	152	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	52	LED40×2	20	1L-1-1
53	153	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	53	LED40×2	20	1L-1-1
54	154	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	54	LED40×2	20	1L-1-1
55	155	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	55	LED40×2	20	1L-1-1
56	156	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	56	LED40×2	20	1L-1-1
57	157	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	57	LED40×2	20	1L-1-1
58	158	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	58	LED40×2	20	1L-1-1
59	159	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	59	LED40×2	20	1L-1-1
60	160	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	60	LED40×2	20	1L-1-1
61	161	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	61	LED40×2	20	1L-1-1
62	162	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	62	LED40×2	20	1L-1-1
63	163	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	63	LED40×2	20	1L-1-1
64	164	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	64	LED40×2	20	1L-1-1
65	165	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	65	LED40×2	20	1L-1-1
66	166	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	66	LED40×2	20	1L-1-1
67	167	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	67	LED40×2	20	1L-1-1
68	168	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	68	LED40×2	20	1L-1-1
69	169	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	69	LED40×2	20	1L-1-1
70	170	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	70	LED40×2	20	1L-1-1
71	171	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	71	LED40×2	20	1L-1-1
72	172	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	72	LED40×2	20	1L-1-1
73	173	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	73	LED40×2	20	1L-1-1
74	174	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	74	LED40×2	20	1L-1-1
75	175	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	75	LED40×2	20	1L-1-1
76	176	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	76	LED40×2	20	1L-1-1
77	177	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	77	LED40×2	20	1L-1-1
78	178	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	78	LED40×2	20	1L-1-1
79	179	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	79	LED40×2	20	1L-1-1
80	180	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	80	LED40×2	20	1L-1-1
81	181	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	81	LED40×2	20	1L-1-1
82	182	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	82	LED40×2	20	1L-1-1
83	183	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	83	LED40×2	20	1L-1-1
84	184	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	84	LED40×2	20	1L-1-1
85	185	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	85	LED40×2	20	1L-1-1
86	186	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	86	LED40×2	20	1L-1-1
87	187	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	87	LED40×2	20	1L-1-1
88	188	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	88	LED40×2	20	1L-1-1
89	189	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	89	LED40×2	20	1L-1-1
90	190	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	90	LED40×2	20	1L-1-1
91	191	LED40×2	1L-1-1	20	LED40×2	20	1L-1-1	91	LED40×2	20	1L-1-1

10. 数量拾い



拾いを行い、Excelに出力しましょう。

① ツールバー

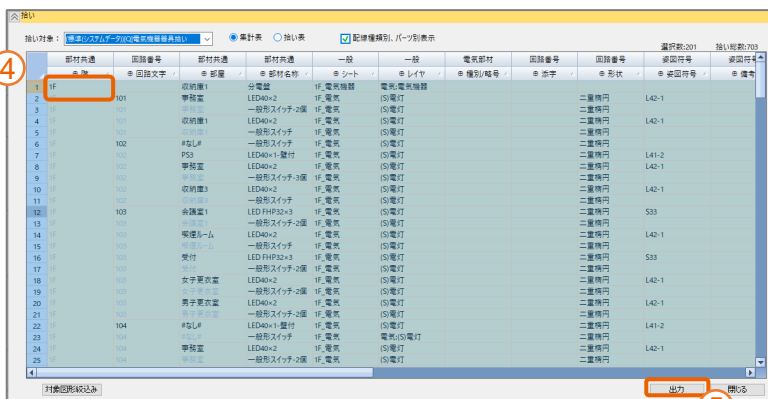
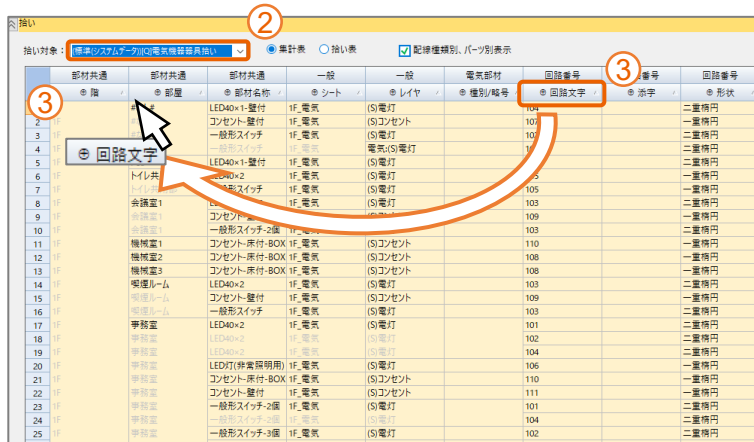
「拾い」 を選択します。

② 「拾い対象」で「標準(システムデータ) [Q] 電気機器器具拾い」を選択します。

③ 「回路番号-回路文字」の項目を<ドラッグ&ドロップ>して左から2番目の項目まで移動させます。(階と部屋の間)

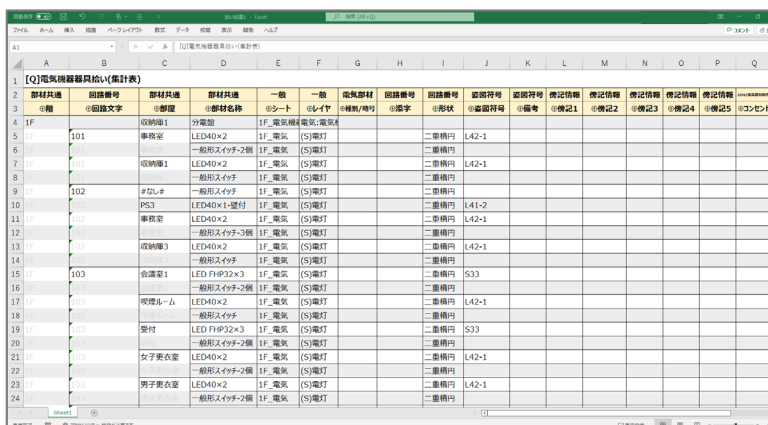
④ 階の列で「1F」セルをダブルクリックして1F全体を選択状態にします。

⑤ <出力>を選択し、結果をExcelで確認します。



POINT

- 拾い表と集計表の切替が可能です。
- 属性検索編集で保存したユーザー独自の設定で拾いを行うことも可能です。



CADWe'll Linx V4 体験セミナー 電気設備編

2024年3月 第3版発行

発 行 株式会社ダイテック

- 本書の一部あるいは全部を、当社および著者の承諾なしに無断で転写、複写することは、法律で定められた場合を除き禁止します。

© 2024 DAITEC Co., Ltd.